

北広島市都市計画マスタープラン 市民 ワークショップニュース

第2号

発行(お問い合わせ先)
: 北広島市
企画部都市計画課
〒061-1192北広島市
中央4丁目2-1
TEL:011-372-3311
FAX:011-372-3850

第2回市民ワークショップ会議開催

将来の北広島市の姿は？

北海道の短い夏の終わりも近づいた8月29日、第2回目の市民ワークショップ会議が、北広島市芸術文化ホールで開催されました。

前回とは若干顔ぶれは違いますが、今回も26名のメンバーが出席が、今回も26名のメンバーが出席2度目ということもあり余裕のスタートでしたが、話に花が咲き過ぎたり、納得したタイトルが付けられなくて、時間をオーバーしたりと、最後は、バタバタしたテーブルもあつたようです。(進行役の市職員のせいでは?という声も・・・)

第2回は、「将来の『魅力的な北広島』を考える」というちょっと難しいテーマ。

それでも、こんなまちに暮らしたい、将来こんなまちにしたいという意見やアイデアが次々と出され、前回にもまして白熱した会議となりました。

メンバーの中には、まだまだ話し足りないという方もいらしたようです。



今回出席していただいた皆様、お疲れさまでした、そしてどうもありがとうございました。

* 皆さんから出された意見は、2枚目以降に掲載していきますのでご覧ください。

ワークショップ会議 また また 実況中継

開幕が近づいてきましたが、今回はメンバーの出足が今ひとつ悪いようです。しかし、間際になって続々とやって来ました。今回も前回と同じ人数となり、事務局は、胸をなで下ろしているようです。

18:35

少々遅れて、第2回ワークショップ会議の開幕です。

事務局のあいさつ、会議の進め方について説明を受け、作業開始。

18:45

前回と同じように、一人3分程度で今日のテーマについて発言していきます。前回のテーマだった「北広島市の良いところ悪いところ」で出た意見を参考に、良いところは残したり、より良くしたり、悪いところはどうしたら良くなるかを考えて、いろいろアイデアが出されます。そして、それを貼ってはがせる紙がストイットに書いていきます。

19:45

ポストイットを似たような意見ごとのグループに分け、大きな模造紙に貼っていくのですが、作業を進めていくうちに新しい意見がどんどん出てきます。悩みながら、貼ってはがし、はがしては貼り。ようやく決まると、今度はそのグループのタイトルを付けました。さらに今回はまちづくりのテーマを考えました。



20:35

テーブルごとに決められた発表者が、出された意見を一人5分で説明していきます。楽しい雰囲気の中、アドリブを交えながら発表は進められ、発表者には、今回もたくさんの拍手が送られました。

21:10

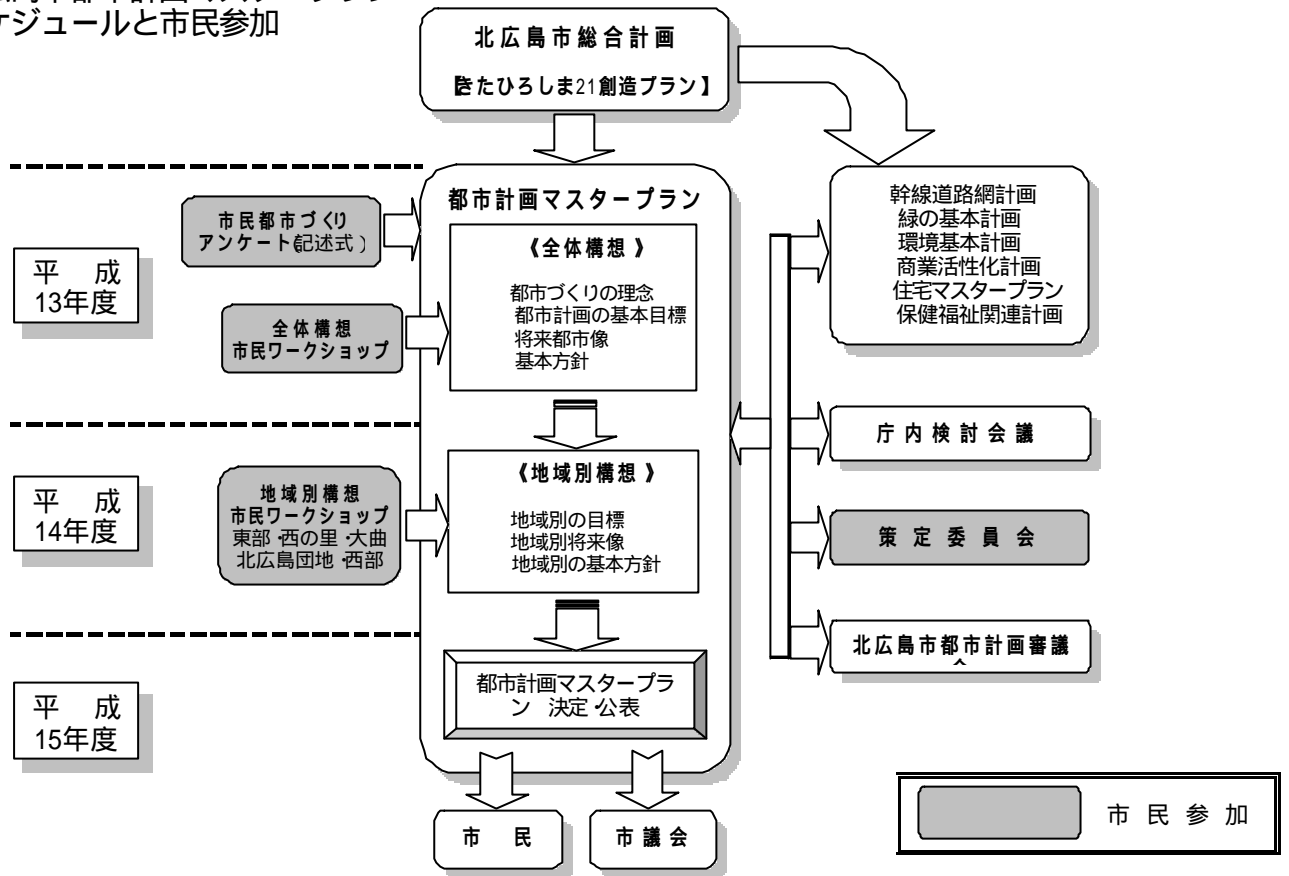
またまた、時間をオーバーしてしまいましたが無事終了。

ホームページもご覧ください

都市計画マスタープランについては、市のホームページでもお知らせしています。

<http://www.city.kitahiroshima.hokkaido.jp/>

北広島市都市計画マスタープラン
スケジュールと市民参加



都市計画マスタープランの
市民参加について

都市計画マスタープランは、市民のみなさんの声を聴きながら、協働で作ってあげていくことが重要です。

今年の4月に行った「市民都市づくりアンケート」、現在行っている全体構想の「市民ワークショップ会議」や、これから設置する「策定委員会」(一般公募で数名の参加を予定)などで、みなさんの意向や、アイデアを反映させていきたいと考えております。

さらに、その結果をみなさんに広く伝えることも重要なことですので、このワークショップをニユースを始め、広報紙、市のホームページなどを通じて、随時お知らせしていきます。

来年度は、地域別構想の市民ワークショップを予定していますので、みなさんの積極的な参加をお願いします。

ワークショップ
ってなあに？

市民参加による計画案づくりの代表的な手法で、5〜6人で1つのテーブルを囲み、グループ討議やカードに記入するなど、実際に手や身体を使い、誰もが意見をしやすいように工夫されています。

お知らせ

緑の基本計画について

現在、市都市計画課では「緑の基本計画」を策定しています。

この計画は、緑の将来像を明らかにし、緑地の保全や、緑化の目標などを定めるもので、市民のみなさんともにつくりあげるため、都市計画マスタープラン同様、ワークショップを実施しております。

第1回ワークショップ会議は9月21日に行われ、多くの市民の方に参加していただきました。

詳細は、
都市計画課緑の計画担当主査
(内線785)

都市景観学習会について

「身近な緑」と「森」を考えるというテーマで都市景観学習会を開催します。

潤いのある街の景観を形成する上で欠くことのできない緑を見つめ直し、快適な生活空間をつくるために私たちに今できることは何かを、一緒に考えましょう。

- 第1回 10月25日 バスウォッチング
- 第2回 11月8日 講義
- 第3回 11月21日 講義・ディスカッション

詳細は、
都市計画課都市景観担当主査
(内線785)

- ・北広島は、4～5地区に分かれているが、中心となるところがない。北海道中央農場あたりに中心となるところをつくとよい。
- ・大曲から市中心部へ気軽に行ける様になるといいと思う。(市のイベントのアピールの向上)
- ・北広島は市民がもっと使わなければならないところをほとんどゴルフ場等に使われている。今さらしかたがないが、これを逆に利用して市がうるおうことを何か考えなければ。なにか全国に誇れるものを考える。

- ・子供達に自然を大切にすることを育てる。環境教育の推進。
- ・自然が身近にある町。自然との交流ができる。
- ・自然林の中に住宅地を。千歳向陽台を参考。文化芸術村的村。
- ・ゴミのリサイクル率の高い街になる。
- ・市民に安らぎを与えられる環境がある。
- ・おちつく、安心できる街になってほしい。北広島がふるさとと思える街になってほしい。

・桜の名所を造っては。市民一人が一本運動で。

・気持ちの安まる所、キンチョーする所、なごむ所の選べる街になると良い。住み分けのある街。

- ・福祉施設が多いので、地域生活支援センター的な場所があったら。伊達市など参考に弱者にやさしい町。
- ・寝たきり老人、ねたきり子供をつくらない。予防医学のすすんだ町をつくりたい。
- ・いつまでも自分らしく暮らせる街。
- ・老人が安心して住める。医療充実、交通量ほどほど他。故に、子供も安心して...
- ・お年寄りが一日中のんびりできる施設があるといい。

・隣近所との関係を密にしたい。
(防犯の意味も含めて)

- ・人と人との関係を大切にできる地域社会がある。
- ・物をすてない街。

- ・人をすてない(大罪にする)街。
- ・北広島は都市計画が役所サイドでつくられてきたが、都市計画を市民の手に取り戻さなければならない。

- ・安心して子育てができる街。
- ・子供の声があふれる町。このままだと急速に老人人口が多くなってしまおうので、若い人に住んでもらえるようにする。
- ・二世帯希望者には応援を。建ぺい率とお金。子供を育てる人に応援を。

・行政をチェック。
オンブズマンを。

- ・財政を豊かになるように(市)を行政、市民が考える。
- ・お金がないので大家を求めて(入札)市役所が入る。

・整備したものは最期まで整備してほしい。街路樹マスの草花等々。

- ・“くれない”“したのに”のない街。
- ・くふうする人間を育てる街。90%の街で良い。
- ・中、高校生などが積極的にボランティア活動ができる。

- ・人材を活用する。
- ・市民活動が豊かに展開される。

- ・ゆったり暮らせる町。人口密度が小で交通量もほどほどで。
- ・中山久蔵の精神的な遺産をテレビ化、小説化。郷土意識連体を育てる。
- ・人と話をする街。(人とのつながりのある街)
- ・ふるさと市場的な場所を造っては。(産直野菜)道の駅。

しぜん

- ・自然には最大限手をつけない。(残す) 緑、水。
- ・緑をいかした街作り。
- ・自然環境に恵まれた7万都市。
- ・エルフィン（妖精）が棲み続ける市。



- ・子どもが元気に遊べる大きな冒険広場
- 自然の中に不必要な施設は作らない。
- 自然を生かして。



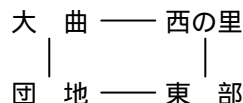
でも交流の場が必要

- ・文化ホールの運営をNPOに委託する！
- ・発表・展示する場所をふやす。
- ・各地区にミックス型の（子ども、老人、行政、レクetc）会館があったらいいな。

つどう

むすぶ

- ・分散した街、でも市としての統一感。
- ・分散した街を生かして個性的な街作り。
- ・分散を前提にその他の特色を鮮明にしていく。
- ・線路上を走行するバス。(どこでも止まる)



- ・緑で囲まれた地域を環境にやさしい公共交通機関（路面電車）で結ぶ市でありたい。
- ・分散地域を結ぶ循環型の交通手段。

かお

- ・隣の人の顔がわかる、助け合える人間関係のある町内会組織作り。
- ・隣人の顔が見える街。
- ・エコマネーをつくらう...100クラーク。

じばさん

- ・農協は地産のものをもっとPRしよう！
- ・地元産の農産物を安く手に入れられる場所(店)とPR。
- ・地域生産物を地域の人が食する。
- ・各地域に直売所。その中には各地域の売り場。地域交流！ 地域自慢！
- ・地産物を低価格で味わえる。
- ・各地域で直売所。(各地域の交流、地域を売る)
- ・市民と農村とが連携した市でありたい。
- ・地元の野菜を買える場所をふやす。
- ・地産産物の食材を使ったレストラン、売店、多目的広場を作ろう~。
- ・地場産品の流通経路を調べよう！
- ・地場産品を使った料理コンテストを実施しよう！
- ・まるひろだいこん「まるひろこ」ちゃんのイメージキャラクターを考えよう！

ふくし

- ・地域性を生かした街。
- 例・西の里地区 - 福祉中心の街
- 障害者、高齢者、児童福祉の街
- 福祉のことなら西の里
- ・子ども~老人、障害者に配慮した(やさしい)市でありたい！
- ・高齢者がすごしやすい街。



安心して楽しむくらしをつくろう

- ・皆で飲んで食事ができるレストラン等ができればいいナ。
- ・まとまった飲食店街をつくる。帰りに一杯飲めるところ。
- ・高齢者になっても自宅で生活できる、安心した街でありたいと思います。
- ・自宅で安心して生活できる地域、行政。
- ・除、排雪の徹底をどのような方法で行うか考えよう。

市民が楽しめる“緑”を確保しよう

- ・冬でも遊べる公園であってほしいです。
- ・どの年代でも広く利用できる大きな公園（アイデアもりだくさんの）がメインに1つ。
- ・みんなが利用しやすい、緑の大きな公園があるといいです。
- ・市民みんなが活用できるゴルフ場になってほしいです。
- ・高齢者と小、中学生との交流の場がほしいです。
- ・自然を市民に身近にするためにゴルフ場の一時開放を！

みんなでパークゴルフを楽しもう

- ・試合できるパークゴルフ場の整備。
- ・北広島市街との中間地点に人が集まる施設（パークゴルフ場、大きな公園、レストラン）等を作る。

- ・市内在住の優れた人材の活用。
- ・人材（色々な分野で）を活用できる場を。（上手に人材を活用する）

人材を活用しよう

文化・芸術の香りたかい街にしよう

- ・市内にある公共施設を開放したり、利用したり、市民に楽しみをもってもらおう。
- ・市としての特色。教育、文化、芸術に力を入れる。
- ・文化、芸術、教育の街にするプロデュースを見出せ。
- ・イベント会場を整備する。（大きな場所）
- ・文化団体の育成と組織化をはかる。
- ・大学の市民レベルでの利、活用をはかる。

公害のない環境をつくろう

- ・工場などの公害は徹底して出さないようにする。

活性する消費と雇用

- ・商業施設が少ない。
 - ・駅前隣の再開発、複合施設。
 - ・市民が高齢化
 - 若者、働く場所がない
 - 大型の商業施設
 - 雇用
- ・複合型又は大型商業施設
 - ・買い易さ 経済効果
 - ・雇用対策
 - ・法人～税
 - ・センスの良い店が欲しい
 - ・輪厚のS.A周辺
 - ・大きなもの 景色が良い
 - 金が落ちるもの

安心して住める街

- ・ホスピタリティの完備。
- 安心して居住できる。
- (老人～子供)
- ・防犯、安心して暮らせる街。

アクティブな街と市民

- ・キャンプ場がせまい。
 - 川にヒルがいる。
 - 大きなキャンプ場があるまち
 - ・スポーツが強い。
 - 子供のチームが多い。
 - 施設の充実
 - ・河が欲しい。
 - ・風のあるまち。
 - ・水を多く。
 - ・輪厚川 親水
花火大会、イベント
- ・スポーツ振興、施設の充実。
 - ・イベント誘致。
 - 北広島市の広報
文化等の浸透
 - ・祭り、イベント。
 - 場所がない
 - ・まちの中で交流できる空間。
 - ・商業ゾーン。
(若い人が楽しめる)

循環型都市をつくろう！

- ・自然の循環
- ↓
- ↓
- 経済の循環
- ・自然を残す
- ↑ 対立
- ↑
- 利便性を高める
- 近代化
- 北広島はバランスが良い
- ・悪臭：科学的方法で解決する。

サークル都市
(ネットワーク型)

- ・サークルが多いまち。
- ・趣味のあつまりで交流する。
- ・恵庭と共同で持つ。
- 広域化
- 単独で持つのは不経済、例えばゴミ処理熱
を利用した温水プール
- ・サークル都市。
- ・4つの島々がネットワークするまち。
- ・自転車道路のネットワークをつくる。

わかりやすい行政

- ・行政から市民へ情報を出すべき。
- ・広報誌
- 豊かな広報誌づくり(人を入れる)
- ・図書館の蔵書が少ない。

交通の便のよい街

- ・交通の便を良くする。
- ・景観の良い道路。
- ・バス 効率の良い運行
- 便利な交通機関
- ・バイパスが欲しい。(交通量増大で危険)
- ・冬に快適な道路。除排雪の充実。

特色のある街づくり

- ・北広の名物、特産物が欲しい。
- アスパラ、ダイコン
- ・北広でつくっているもの どこでかえるのか？
- ・北広のアイデンティティ
- 平和にこだわる 誇り
- ・女の人が元気なまち。

未来を担う子供を健全に育てる！

- ・子育てがきちんとできる事が大切。
- ・高等教育機関がもう一つくらい欲しい。
- ・子供達(小、中、高)にまちの将来像を聞くことが大切である。
- ・東小学校、生徒増加。大曲小学校、生徒減少。
- バランスをとる

平和

- ・ 平和なまち。
- ・ 平和教育のさきがけを行う。
- ・ 平和の火をもっと大きくアピールしよう。

- ・ 団地に2世帯住宅。
- ・ 母親も働ける。
- ・ 子どもがふるさとと思える。(児童館)
- ・ 子育てがしやすいシステム。

子育て

- みんなの市政、市役所に
- ・ かゆいところに手が届くような先進的なことをやる。
 - ・ 市の施策を先駆的にする。
 - ・ 市民の立場に立って、市民の声を聞く市政を。

医療施設

- ・ 医療施設までのバス送迎があれば、総合病院に行く。
- ・ ひとり暮らしのお年寄りが安心して暮らせるサポート体制を。
- ・ 選択性のある老人施設がある。
- ・ 高齢者に優しいまち。(病院をつくる)
- ・ 夜間の医療体制の整備。
- ・ 健康センターの循環。
- ・ 市民の健康を守るセンター。(訪問診療や歯科検診など気軽に受けられる)
- ・ 生活習慣病を予防する方法。例えば食生活の指導を広く行う。

- ・ 循環バスをつくる。
- ・ 駅までのアクセスをよくする。
- ・ 環状線を整備する。
- ・ 流雪溝を整備して雪対策を。
- ・ 青年がつどえる。
- ・ みんながつどえる。(若者から高齢者まで)
- ・ レク施設や公園が多くあるとゆとりにつながる。
- ・ 街灯をよくする。
- ・ 各地域にそれほど大きくない施設をつくる。

ハード面の充実

買い物

- ・ 身近な商店が元気。
- ・ スーパーの宅配サービスを充実させる。

自然

- ・ 緑は残したい。(子育てには)
- ・ 分断されている緑をつなげる。自然環境、動物への配慮。

結論

- ・ 若者から老人までが住みつづける。
- ・ 若者が住みつづけられる。

- ・ 栗山北広島の景観を守る。
- ・ 景観がよいゴミ箱をおく。
(分別も)

みんなを “ つなげる ” 緑・川

- ・ 川を利用に考える。
- ・ 市としての目玉作り。(自然、施策等)
- ・ 社会的弱者も楽しめる公園。
- ・ みんなが使える、生活につながる緑づくり。子供が遊べる、大人も楽しめるもの。
- ・ 野菜の駅。(輪厚 J A 36号)
- ・ 緑をふやし、川で遊べる。
- ・ 苫小牧の様な水を大切にする市。
- ・ 自然に溶け込めるような環境づくり。

地域の “ つながり ”

- ・ 各地域との交流。
- ・ 自転車道路を循環してほしい。
- ・ 循環バスの整備。
- ・ 栗山北広島線の道路沿いの景観を活用。
(サイクリング)

世代間の “ つながり ”

- ・ 市の病院 (総合病院) よい医者がいること。
- ・ グループホームを作っていく。(空き教室の利用)
- ・ 在宅老人のサービスの出来る市。
- ・ おたっしや塾を地区ごとにあると良い。
- ・ 福祉関係の人材の育てられる市。(勉強の場所)
- ・ 福祉に力を入れる街。
- ・ 弱者を第 1 に考える市。(アンケートをその方々より聞く)

世帯間の “ つながり ”

- ・ 小学校の空き教室の活用。
みんなで集まれる場所づくりで地域のコミュニティづくり。
- ・ 声かけ運動。